

54

協力

伝道団体の情報誌

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1
OCC 614号室 TEL.03-3291-5035
www.gospeljapan.com/dd/

愛のうちに立てられる

伝道団体連絡協議会 総務 岡田 哲夫

キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分とその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされて、成長して、愛のうちに立てられるのです。

エペソ 4:16

主の導きのうちに伝道団体連絡協議会が発足して今年で20周年を迎えます。この働きを通して、互いの相互理解と一致のうちに、祈りつつ主の宣教の働きを進めてこられたことを感謝申し上げます。20年の歩みの中で、各伝道団体との間で交わり、研修、フェスティバルなど様々な活動をしてまいりましたが、これからは日常の働きの中での具体的な協力や祈りの強化を願っています。

各伝道団体は、その使命と専門的な知識、技術をもって超教派的な働きを展開しています。その多岐にわたる働きの中で祈りあい、出来ることからでも協力してゆくことは、すばらしいことだと感じています。体は一つ一つの部分の働きもありますが、相互に働いて体全体の働きとなります。速く走るためには、障害物を避けるために前方を見る目が必要で、足だけの動きではなく手や腕の振り

が不可欠です。また、部分がより良く働くためには、養分補給等のために血液が不可欠です。伝道団体の協力のための血液は情報です。日常の中で、今まで以上にリアルタイムに情報のやり取りが行われる必要があります。そうすることで関わりがより密接となり、祈りや協力がより具体的になることと思います。幸い今日では、インターネットなど情報交換のための血管が張り巡らされており、瞬時にやり取りが出来ることはなんと幸いな事かと思えます。こうした中で加盟団体の働きの「今」を良く知ることが大切だと感じています。ともすれば、各団体の働きは何度も紹介され知っているつもりになってはいますが、各団体ともその働きのために祈り、日々新しい計画が立てられ、実行されています。お互いの「今」を知り、今しか出来ない祈りと協力を具体的に示してゆけたらと願っています。

伝道団体が「キリストによって、からだ全体は、・・・愛のうちに立てられる」のみことばを土台とし、教会・団体と一致協力しながら、宣教の使命を果たして行く時、教会が縦軸、伝道団体が横軸として主の十字架の福音を示してゆくことになると思います。

今回、伝道団体連絡協議会の総務としてさせていただきます。よろしくお願いたします。(WLP M・CR企画)

伝道団体連絡協議会・情報交換会報告

日時：2005年1月11日（火）午後2時～4時

会場：OCC 901号室

1月11日、新しい年を迎えて、それぞれの団体の活動の課題や計画を個別に紹介し、互いに祈り合う時として「情報交換会」をもちました。開会礼拝において会長の姫井雅夫師は、1ペテロ4:10より「恵みの善い管理者」として「賜物を生かして互いに仕える」という伝道団体協議会の根幹についてメッセージされました。残念ながら出席は10団体より11名とあまりふるいませんでしたが、2人組になりそれぞれの所属団体と加盟団体のためにじっくりと祈り合うことができ、新年にふさわしい恵まれた時となりました。福音を伝えるためにそれぞれの長を生かしながら使命を果たそうと活動している諸団体の働きに関心を覚えつつ、その必要が満たされるようどうぞお祈りください。

出席団体からの活動状況と祈りの課題

●いのちのことば社

「ティンデル聖書注解シリーズ」全48巻を予約発売中。「百万人の福音」・発行50周年記念誌を発行予定です。「クリスチャン新聞」を昨年タブロイド判に変更いたしました。好評です。「新改訳/NIV」聖書を1月に発行しました。

●教会インフォメーション・サービス

CISの新体制、機構の準備が進むように。また財政の必要が満たされるようお祈りください。

●太平洋放送協会（PBA）

テレビ1県1局を目標とする5分、10分、15分、30分プログラム。栃木県を2005年にスタートする予定です。これからのメディアの形式として地上

波デジタル放送、インターネット放送なども視野に入れ全世界にメディアを広げていきたいと思っております。昨年星野富弘氏講演会開催しましたが超満員となり感謝しています。収支のバランスが悩みです。お祈りください。

●光のミッション

改名して光ミッションとしてから3年が経過し、2期として、何ができるか。何をおこなうかを模索しているところです。呼びかけに応じて使用済みカセットが続々寄せられていることに感謝しています。テープを使用しているフィリピン伝道の献金が少ないので主のために捧げていただきたいと考えています。働き人が与えられますように。

●J T J 宣教神学校

ピーク時以来数年落ち込んでいた入学希望者が2005年度は多くなってきています。この世の様々な危機を通じて教会に集う人も増加している感があり、リバイバルの前兆ではないかと思われまます。このような中で日本でひとりでも多くの方が「働き人」としておこされるように願っています。

●小さな命を守る会

教会の中にさえも性の乱れがあり、そのためにマンガ「小さないのち」がさらに用いられるように願っています。小さないのちを守る会では現在全国に10支部を設けています。名古屋支部に与えられた後継者の牧師のため、また北海道支部のためにお祈りください。

●日本聖書協会

解説つきの「スタディーバイブル」旧新約聖書版が2006年に完成のため目下翻訳作業中です。スマトラ地震津波被害・スリランカ、インドネシア、タイ、

インドの被災4か国へ支援金を募り、各国の聖書協会と教会を通じて捧げられます。点字聖書製作の他、今後15年をかけて完成予定の「手話訳聖書」翻訳のためにお祈りください。

●日本キリスト伝道会

幻を語る会・四国伝道。会長を松田幾雄師が体調不良のため、赤羽教会の深谷春男師に交代し若返りが進みました。キリスト伝道会は主に小松川教会が財政的に支えているので、支援協力がより広がることを願っています。

●日本キャンパス・クルセード

現在の働き人は現在100人(外人60・日本40)、2005年度に「学生センター」を建設予定で必要額9千万円を見積もっています。エブリーデー伝道。断食祈祷会の継続のためにお祈りください。

●国際ナビゲーター

仙台・静岡・宇都宮他にサポートが出来なかったため、今後考えていきたいと考えています。社会人・家族に対して実のある伝道、確実性のあるコミュニティー宣教のネットワークを大事にして人をどう育てるか、どう使っていくかを進めていきたいと考えています。

●総動員伝道

すべての人に福音を伝える働きのため、あらゆる伝道団体、色々なメディアを活用しています。全てのクリスチャンが強い使命感を持ち良き証人になるよう、働き人を育てるために協力を願っています。

欠席団体より寄せられた祈りの課題

◎福音主義医療関係者協議会

35周年の記念行事(ジャーナル、シン

ポジウム)の企画が祝福されますように。関東、関西の2か月に1度の祈り会が充実しますように。夏の企画(EMF聖研合同キャンプ・国外研修)が祝福されますように。

◎全日本リバイバル・ミッション

9月16日(金)～19日(月)に行われる、北関東リバイバル・ミッションのためにお祈りください。

◎高校生聖書伝道協会(Hi-BA)

スタッフの健康と霊性が支えられて、高校生伝道に取り組みますように。2005年度の活動計画、運営、経済を討議していますが、主の導きが与えられるように。新高1年生を迎え、高3を送り出す準備のためにお祈りください。

◎ワールド・ビジョン・ジャパン

スマトラ沖地震の被災者のために。またその支援活動が守られますように。

◎パラビジョン

昨年リリースした「アライアンス・ビデオ・マガジン vol.4」が用いられますように。経済の安定化によるクリスチャン・ビジネスを通じた宣証のために。教会の宣教の業に仕える仕事をメインとできますように。「喰うための仕事じゃだめ。伝道の働きをメインにしよう！」

(記録・日本聖書協会 柳澤真)



第21回 総会 ご案内

伝道団体連絡協議会が1985年6月13日に創設されて21年になろうとしています。いろいろな団体が加盟して、伝道団体の働きを諸教会とクリスチャンに紹介してきました。また伝道団体相互に協力し合って、諸活動を展開してきました。しかし、20年間に諸団体が脱退せざるをえないような悲しい状況にもなっています。

21世紀に入っている現在、世界は大きく、またすばやく変化しています。主の再臨の近いことが再び取りざたされるような世情にもなっています。であればこそ、福音宣教の急務であることを再確認させられるのです。このような迫りを覚える中で、21回目の総会を開催しようとしています。

◎2005年4月18日(月)午後2時
◎御茶ノ水クリスチャン・センター9階

改めて出欠を取らせていただきますが、前もってご案内申し上げました。予定に入れておいてください。

● 年会費をお忘れなく

当協議会は加盟団体の年会費(1万円)によって賄われています。会計年度は4月1日から翌年の3月31日です。2005年度の年会費を総会時にお持ちいただくか、振り込んでください。郵便振込番号 00150-0-546444 名称:伝道団体連絡協議会 よろしくご協力ください。

規約によりますと、「3年間、会費を納めず、総会にも出席のない場合、加盟継続の意思なしを確認の上、脱会とみなす」となっています。ご自分の団体の納入状況をご確認の上、お納めいただけると感謝です。

<役員紹介>

会長: 姫井雅夫(総動員伝道)
副会長: 浅見鶴蔵(総動員伝道)
総務: 岡田哲夫(CR企画)
書記: 柳澤 真(日本聖書協会)
会計: 渋沢浩二(国際ナビゲーター)
編集: 東 裕之(太平洋放送協会)
発送: 鈴木優子(日本キリスト伝道会)

<加盟団体名>

いのちのことば社、いのちの水計画、御茶ノ水クリスチャン・センター、キリスト者学生会、教会インフォメーション・サービス、クリスチャン文書伝道団、国際ナビゲーター、こころの友伝道全国連合会、新生宣教団、JTJ 宣教神学校、全日本リバイバル・ミッション、総動員伝道、太平洋放送協会、小さないのちを守る会、光のミッション、日本キャンパス・クルセード、日本キリスト宣教会、日本キリスト伝道会、日本国際飢餓対策機構、日本聖書協会、日本伝道者協力会、日本ミッション、ハーベスト・タイム・ミニストリー、高校生聖書伝道協会、福音主義医療関係者協議会、ブリッジ・フォ・ピース、フレンドシップ・ラジオ、マザーズ・カウンセリング・センター、ミクタム・レコード、ライフ・ミニストリーズ、ワールド・ビジョン・ジャパン、近畿放送伝道協力会、パラビジョン

以上33団体

伝道団体連絡協議会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1、OCCビル 614号室

TEL. 03-3291-5035

FAX. 03-3291-5266

Website www.gospeljapan.com/dd/

Email sodojin@ybb.ne.jp

発行日 2005年2月10日

発行者 姫井雅夫

編集者 東 裕之